

全社員が目標を見える化していますが、代表として社長の目標を掲載します。

日々の仕事がSDGsへどう貢献しているのか見える化し  
一層の努力を継続する。(持続可能な社会を願って)

作成部門	代表取締役社長 堀田秀敏		
制定日	2020/7/1	改訂日	2021/6/21

SDGsの項目	項目No.	具体的な取り組み内容
 	1、2	・ホットイーポリマーが継続して成長できるように最善の経営を行い毎年利益を上げ僅かでも毎年日本赤字社やNPO（非営利団体）に寄付をするように努める。
	3	・自分も含めて全社員が健康維持できるような働く環境をつくる努力や福利厚生を充実させる努力を怠らず、安全な工場を目指す。また健康に関する情報を社内報等を通じて発信したり環境委員会や5S安全衛生会議を通して社員の健康管理を啓蒙する。 ・各部門で社員の面談を増やし、心のケアに努める。何か問題が発覚した場合は今年設置したメンタルヘルスクア委員会で議論し、早めの対策をとり心の病にかかる社員を出さない努力をする。
 	4	・全社員のスキルが向上する社風（例えばHOPS活動や内部監査員育成）をつくりプチ表彰などを行い働きがいのある明るく活力ある職場を目指す。 ・様々な場面や各部門の教育を支援し社外研修もできるだけ活発に参画させる。
	5	・女性スタッフを平等に評価し各部門の女性のリーダーを育成する。
 	6	・環境マネジメントシステムのPDCAを回し汚染の減少に努める。 ・水に関連する生態系の保護活動に賛同し機会があれば寄付をする。
	7	・再生可能エネルギー分野への部品供給を増やすべく高機能な製品を開発する努力を怠らない。また、将来工場に再生可能エネルギーを導入できるようあらゆる経営努力を怠らない。
 	8	・ホットイーポリマーが常に成長する長期のビジョンを掲げ達成できるよう中期の経営目標を掲げる。トラスベンチャー企業としてイノベーションを興す。 ・そして雇用を守り良い会社を目指すことで全社員が働きがいのある会社になるよう努力を怠らない。 ・働きがい研究プロジェクトで心得を議論してもらい社員全員で行動指針のようなものを作成できるようにフォローする。そのことでより良い社風をつくる。また、そのため今年には社内報を月2回発行して会社全体の一体感が増すよう努力する。
	9	・環境に優しい製品の開発および3Dプリンターの総合サービスで製品開発の効率性や自由度の向上に貢献しイノベーションを促進させる。
 	10	・性別、障害、人種などによる不平等のない会社を目指す。 ・機会均等を確保し成果の不平等をなくす努力をする。
	11	・豪雨にも耐えられる持続可能な住宅やインフラストラクチャーに貢献できる水密材を開発及び販売する努力を継続する。 ・エネルギー資源の効率向上に貢献できる気密材を開発及び販売する努力も継続する。
 	12	・化学物質や廃棄物の管理をPDCAを回して継続し環境目標の達成に努める。 ・リサイクル技術の向上及びリサイクル製品の上市を目指す。
	13	・気候変動に関連すると思われる豪雨や大型台風に備えるため事故及び緊急事態対応手順書の改訂を指示承認し常にレベルアップする努力を怠らない。 ・持続可能な環境に優しい製品の開発及び販売を継続する。
 	14	・海洋ごみの削減に少しでも貢献できるような生分解性プラスチック製品や植物由来製品の開発及び販売を増やす努力を継続する。
	15	・保護の対象となっているような動植物を使った製品を購入しないようにする。 ・機会があれば、森林火災による動物保護や絶滅危惧種の保護に寄付を行う。
 	16	・組織犯罪には一切の関係を持たない。 ・取引先との間で常識の範囲を超えるような過度な接待を行うことも受けることも禁止する。 ・あらゆる法令を順守する。
	17	・タイ工場の発展に貢献すべく技術支援、資金供給、知識情報提供によってパートナーシップを強化する。